

常設展示室は、五つのテーマに分かれ、地域の総合分野について知ることができます。そして、入り口正面には、来館者をお迎えしてくれる大きな動物がいます。1993年、美濃加茂市内の木曽川河床から、その足跡が見つかり、当時は、日本の最古のものと認定されました。足跡の主は「カニサイ」。足跡や骨の化石から復元されたカニサイが耳や首を動かして、展示室に入る人々を歓迎します。ただ、小さなお子さんにとっては、少しおっかない存在にもなってしまいうようで、たまに泣いてしまう子も…。でもご安心を。彼(彼女?)は、とてもおとなしく、皆さんの訪問を温かく見守ってくれている文化の森のアイドルです。

